

行番号	聞いた素材	協力者の発話内容		データ収集者の発話内容	備考
		発話	日本語訳		
1	あ,できるだけね,あの,なんて言うの,わかりづらくならないように,やりたいと思います。	어, 할 수 있는 한, 가능한 한, 조금 쉽게, 알기 쉽게 가르치도록 하겠습니다.	えー, できる限り, 可能な限り, ちょっと易しく, わかりやすく教えるようにします。		
2	で,今日は,1ということで,心と心理学という話です。画面が映ったらあの幸せですが,映らなくてもいいです。	오늘은 일단 마음과 심리학에 대해서 들어가도록 하겠습니다. 화면이, 어, 빛취지고 있겠지만 빛취지지 않아도 괜찮습니다.	今日はまず心と心理学について入ることにします。画面が, えー, 映っていると思いますが映ってなくても大丈夫です。		
3				ここでの画面というのはどうのことだと思いますか。推測でいいので教えてください。	
4		아마, 이게, 제가 예전에 심리학 수업을 들은 적이 있는데, 심리학 수업이 항상 학생들이 많아서, 이제, 그, 스크린 띄우고 하는 수업이 있었는데요, 그래서 이 수업도 비슷하게 학생들이 많기 때문에 스크린이 띄워져 있을 거라고 생각을 했습니다.	たぶん, これは, 私は以前心理学の授業を聞いたことがあるのですが, 心理学の授業がいつも学生が多くて, その, スクリーンに映してする授業があったんですが, だからこの授業も同じように学生が多いのでスクリーンに映っているのだと思いました。		
5	3つぐらいあります。おも, お手持ちの, あの, パワポを持っている人は, あの, そっちも見てくださいね。	여기서 이게 세개가 나오는데, 어, 그, 파워포, 파워포인트 자료를 가지고 있는, 있으시는 분은 그걸 봐 주세요, 라고 하셨습니다.	ここでこれは3つ出てくるんですが, えー, その, 「パワポ」, パワーポイントの資料を持っている, いらっしゃる方はそれをご覧ください, とおっしゃいました。		
6				ここで言うパワーポイントも見てくださいというのはどうのことだと思いますか。	
7		아마, 사전에 선생님께서 레주메, 그, 미리 볼 수 있는 자료를 배부를 해주셨거나, 아니면은 인터넷상으로 파워포인트를 공개를 해주셔서, 학생들이 다운 받아서 프린트를 해오는 식이 아닐까 싶습니다.	たぶん, 事前に先生がレジュメ, その, 前もって見られる資料を配布して下さったとか, あるいはインターネット上でパワーポイントを公開して下さって, 学生たちがダウンロードしてプリントをしてくる方式ではないかと思います。		
8	3つぐらいの話があって, あの, 僕は字が下手でごめんなさいね。だけど, そんなに読みづらくはないという噂があります。	여기에 세개 정도 있는데, 어, 저는 글씨를 잘 못써서 읽기 어려울 수도, 아, 글을 잘 못, 글씨를 잘 못쓰는데, 그렇게 읽기 어렵지는 않을 것입니다.	ここで3つぐらいあるのですが, えー, 私は字が下手で読みにくいかも, あー, 字が下手, 字が下手なんです, そんなに読みづらくはないと思います。		
9				読みづらくないと思いますというのは, 誰が読みづらくないと思っているんですか。	
10		어, 선생님이 수수로 그렇게, 학생들이 읽기 어렵지 않을 것이라라고 생각을 하는 것 같습니다. 제가 봤을 때 선생님, 어, 글씨가, 어, 그렇게 되게 크고 단순하게 딱딱 써져 있는 걸 보서는, 학생들도 그렇게 어렵지 않게 읽을 수 있을 거라고 생각이 듭니다.	えー, 先生が自分でそのように, 学生たちが読みづらくないはずだと思っていると思います。私が見ても先生が, えー, 字が, えー, そのようにとても大きく単純にしっかり書かれているのを見ると, 学生たちもそのように難しくなく読めるだろうと思います。		
11	めんどくさいときはひらがなを書きますね。	귀찮으니까 히라가나를 쓰겠습니다.	面倒なのでひらがなを書きます。		

12	問題。ね。現代の心観。板書するとあの、まあ、大学らしくていいですけども、時間がかかるんだよね。	지금 글을 쓰시면서, 현대를 심관, 그, 마음을 보는, 심관에 대해서 이야기를 하셨는데, 이걸 그냥, 어, 그냥, 쓰실 때 외우고 쓰시라고 해야, 말을 하신 것 뿐인 것 같습니다. 그냥 말을 하고 그대로 쏘려고 하신 것 같습니다. 이렇게 글을 쓰시면서, 어, 그, 대학 같아서 좋습니다, 라고 이야기를 하셨습니다.	今字を書きながら、現代を心観、その、心を見る、心観についてお話をされたんですが、これはただ、えー、ただ、書くとき声に出して書こうとして、話されただけのようです。ただ言葉を言ってそのまま書こうとなさったようです。このように字を書きながら、えー、その、大学らしくていいです、と話されました。		協力者の発話の「심관」は、日本語の「心観」という漢字を韓国語式に発音している。
13				黒板に書くことについて、大学らしい以外に先生はなにか言っていたか。	
14		그냥 대학 같고 좋다고 하신 것 같아요.	ただ大学らしくていいとおっしゃったと思います。		
15	えっと心と心理学ってことで、まず心という言葉について、これについて考えてみよう。	먼저, 어, 마음과 심리학이라는 것에 대하여, 먼저, 마음이라는 것은 뭇인가에 대해서 생각해 봅시다, 그 단어에 대해서 생각을 해 봅시다.	まず、えー、心と心理学というものについて、「まず」、あー、まず、心というものはなんなのかについて考えてみましょう、その単語について考えてみましょう。		
16	で、2つ目が、あの、心について考えるってのは、実は、どんな問題を含むのかですね。	이 마음에 대해서 생각하는 것은 어떤 문제를, 어, 문제를, 문제를, 어떤 문제를, 어, 어떤 문제인가, 그 마음에 대해서 생각한다는 것이 어떤 문제인가에 대해서, 어, 생각하는 것입니다.	この心について考えることはどんな問題を、えー、問題を、問題を、うーん、どんな問題を、えー、どんな問題なのか、その心について考えるということがどんな問題なのかについて、えー、考えるのです。		
17	心という言葉で立ち止まっていると、なかなかわからないところがあるんで、その先に進んでみようという話。	마음이라는 단어에 그냥, 이제 사로잡혀 있으면, 좀, 어, 앞으로 나아가지 못하고, 좀 멈춰야 있는 경우가 있기 때문에, 어, 다음으로 넘어가도록 하겠습니다.	心という単語にただ、とらわれていると、ちょっと、えー、先に進まず、ちょっと止まらなければならない場合があるので、えー、次に進むことにします。		
18	で3つ目が、現代社会が、あの、我々のにほ、住んでいる、この21世紀初頭の日本社会が、心についてどういう考えを持っているか。	어, 아, 세번째가, 이제, 우리가 살고 있는 현대 사회의 이십일 세기에서, 어, 그 마음이라는 것이 어떤 거, 마음이라는 것이 어떤 것을 나타내고 있는지.	えー、あー、3つ目が、我々が住んでいる現代社会の21世紀で、えー、その心というものがどんなもの、心というものがどんなものを表しているのか。		
19	まあ、心についての考え方っていうので心観という言葉を使っています。	응, 아, 방금, 방금 잘못 들었다고 했었는데요, 순간, 이제 들려 가지고 말씀을 드리겠습니다. 현대 사회, 이십일 세기의 현대 사회가, 이제, 마음에 대해 어떻게 생각을 하고 있는지에 대해서 이야기를 하도록 하겠습니다. 그런 의미에서 心観이라는, 심관이라는 표현을 사용하고 있습니다. 심관이라는 것이 마음을 본다는 뜻인 것 같습니다. 아, 방금에 대해 하는데, 아, 잘못 들어 가지고, 심관이라는 건, 이제, 마음을 본다는 뜻인 것 같습니다.	うん、あー、さっき、さっき聞き間違えたと思っていたのですが、一瞬、聞こえてしまってお話します。現代社会、21世紀の現代社会が、心についてどのように考えているのかについて話すことにします。そういう意味から「心観」という、心観という、心観という表現を使っています。心観というものは心を見るという意味のようです。あー、さっきについて話すのですが、あー、聞き間違えて、心観というものは、心を見るという意味のようです。	協力者の発話の「심관」は、日本語の「心観」という漢字を韓国語式に発音している。	
20	心観という言葉は、あの辞書を引いても出てきません。	이 심관이라는 말은 사전을 찾아 봐도 안나옵니다.	この心観という言葉は辞書を引いても出てきません。		
21	これはあの僕が勝手に作った言葉です、	이건 제가, 그냥, 마음대로 만든 말입니다.	これは私が、ただ、勝手に作った言葉です。		
22	から、あの辞書を引かないでください。ね。[笑う]引いてもなんか変なことしか、あ、変なことっていうか、僕の言ってることと違うことが出てくるのがオチだと思います。	그러니까, 사전 찾아, 찾지 말아 주세요. 아마 사전을 찾아 봐도 이상한 것만 나올 거고, 어, 제가 말하는 그 심관이랑은 다른 의미의 것이 나올 것입니다. 아, 이런 경험은 많이 있었기 때문에, 전문 용어 같은 게 이제 사전을 찾아 봐도 다른 의미로 나올 때가 많아서, 저 또한 사전을 찾기보다 교수님한테 직접 여쭙 보는 일이 많았던, 그런 경험이 생각이 납니다.	だから、辞書を引いて、引かないでください。たぶん辞書を引いても変なものしか出てこないし、えー、私が言っているその心観とは違う意味のものが出てくると思います。あー、こんな経験はたくさんあったので、専門用語のようなものが辞書を引いても他の意味で出てくるときが多くて、私もまた辞書を引くより教授に直接伺ってみることが多かった、という経験が思い出されます。	協力者の発話の「심관」は、日本語の「心観」という漢字を韓国語式に発音している。	
23	あの、心についての考えかた。	마음에 대한, 그, 생각 방식입니다.	心についての、その、考えかたです。		

24	ね。そういう意味ですね。で、まずその心という言葉ですが、誰もが心という言葉には、あの、まあ、非常に強い、思いがある。ねえ。	깊어 가지고... 아, 먼저 이, 어, 마음이라는 단어에 대해서 생각을 해 보는데, 마음이라는 단어는 이제 사람들이 각자 다 강한 마음을 가지고 있을 거라고 생각이 듭니다.	長くて...あー、まずこの、えー、心という単語について考えてみるのですが、心という単語は人々が各自みな強い心を持っていると思われま。		
25	とは何よりも大切なものだっていうふうに言い切っているわけですが、	여기서 이제, 그 마음이라는 것은 뭇보다도 중요하다, 라는 것을 이제, 그, 마음에 강한, 마음에 대한 강한 생각, 그런 걸로 이어, 이어서 생각하시는 것 같습니다.	ここで、その心というものはなによりも重要だ、ということ、その、心に強い、心についての強い考え、そういうものに繋げ、繋げて考えていらっしゃるようです。		
26	考えてみよう。心ってどういう意味？なにそれ？	마음이라는 것은 어떤 의미인가요? 어, 그건 도대체 뭇일까요?	心というものはどんな意味でしょうか。えー、それはいったいなんなのでしょうか。		
27	という問題。心ってなになにって言われたらね、すごく、実はこれ説明ができない。	마음이란 뭇까라고 이제 질문을 받으면, 이거에 대해서는 설명하기가 정말 어렵습니다.	心とはなにかと質問されると、これについては説明するのが本当に難しいです。		
28	当たり前ですが、言葉でうまく説明できたら、もうそんなあの、誰も苦労しないわけね。	당연한 거지만, 이제, 어, 말로, 음, 설명을 해서 바로 알 수 있는 것이라면, 어, 바로 알 수 있는 것이라면, 그렇게 공부를 하는데 고생을 하지 않을 것입니다.	当然のことですが、えー、言葉で、うーん、説明をしてすぐわかるものなら、えー、すぐわかるものなら、そんなに勉強するのに苦労をしないでしょ。		
29	難しい言葉で抽象的な言葉だからこそ、あの我々は魅力を感じるというところがあるかもしれない。	어렵고 추상적인 말이기 때문에 우리들이 이 학문에 대해서 매력을 느끼는 걸지도 모릅니다.	難しく抽象的な言葉だから私たちがこの学問について魅力を感じるのかもしれない。		
30	で、純粋に、国語のお勉強としてね、心という言葉を考えてみよう。	순수하게, 어, 그 국문학적으로 마음이라는 단어에 대해서 생각을 해 봅시다.	純粋に、えー、その国文学的に心という単語について考えてみましょう。		
31	1つが漢字ですね。日本の言葉っていうのは多くが漢字からこう、あの、とれ、採られてますね。	먼저 첫번째로 한자죠. 일본에서는 이제 한자를 받아들여서 쓰고 있기 때문에, 라고 하셨습니다.	まず1つ目に漢字ですね。日本では漢字を受け入れて使っているの、とおっしゃいました。		
32	この字は知ってるよね。心。	이 글자는 알죠. 마음.	この字は知っていますね。心。		
33	これはどっから来たんだっけ。	이건 어디서 왔었을까.	これはどこから来たのか。		
34	これは象形文字だよ。	이거는 상형 문자죠.	これは象形文字ですね。		
35	あの漢字にもいろんな種類がありますが、これは心臓の形を表した。これは心臓の形を表した。ね。	한자에는 여러가지 종류가 있는데 이건 심장의 모습을 띠고 있습니다. 네. 제가 느끼는 거는 심장, 심장의 모습 같다고 느끼지는 못했는데, 네, 그렇게 느껴지는 것 같기도 합니다. 지금까지는 이 心라는 게 상형 문자라는 걸 몰랐어서 가지고, 이 한자를 보면서 심장 같다고 생각을 해 본 적이 없는데, 한번 선생님 말씀을 듣고, 아, 심장 같기도 보인다고 생각이 들었습니다.	漢字にはいろいろな種類がありますがこれは心臓の形をしています。はい。私が感じることは心臓、心臓の形のようなとは感じられなかったのですが、はい、そう感じられるようでもあります。今まではこの「心」というのが象形文字だということを知らなくて、この漢字を見ながら心臓のようだと考えたことがなかったのですが、1度先生のお話を聞いて、あー、心臓のようにも見えると思いました。		
36				ちなみに、先生が言う心臓の形というのほどのことですか。先生が板書をしているどれを指していますか。	

37		음, 심장, 인간의 심장이 하트로 그려져 있잖아요, 이렇게 생겨 가지고, 그걸 표현하는 게 아닐까 싶습니다. 인간의 심장.	うーん, 心臓, 人間の心臓がハートとして描かれているじゃないですか, そういう形をしていて, それを表現しているのではないかと思います. 人間の心臓.		
38	ね。なんか知らないけど, こうなってこうなって, こんな感じ? あ, おんなじだよ。でな, こんな, まあ, こんな感じだよ。	이렇게 해서 이렇게 해서 이렇게 하면서 그리셨고, 이런 느낌이죠 하면서 그리셨습니다.	こうやってこうやってこうと言いながら描いて, こんな感じでしょうと言いながら描きました。		
39				先生はなんの絵を黒板に描いたんでしょうか。	
40		심장을 나타내고 있는 것 같습니다. 방금 이제 선생님이 질문을 하셔서 이제 심장, 그, 마음 심자가 어떻게 심장을 닮았는지 생각을 해봤는데, 지금 봐도 별로 그렇게 안 닮은 것 같기도 하네요.	心臓を表しているようです。さっき先生が質問をなさって心臓, その, 心という字がどう心臓に似ているのか考えてみたんですが, 今見ても別にそんなに似ていないようでもありますね。		
41	ちょ, これ, 全然ダメですね。[笑い]とにかく, 心臓の形を表していると言われています。	어찌됐든, 마음의 모습을 나타내고 있다고 알려져 있습니다.	とにかく, 心の形を表していると知られています。		
42	だから, まあ心臓のことを心の臓と書いて, 心臓と読むわけだけど,	그, 심장이라는 것은 마음의 장, 내장이라는 표현입니다. 그래서, 어, 옛날 사람들은, 그, 옛날 사람들은	その, 心臓というものは心の臓, 内臓という表現です。だから, えー, 昔の人たちは, その, 昔の人たちは		
43	昔の人はなんとなく, 心ってのは, このへんに, 心臓にあるんじゃないかなみたいなイメージを持っていた。	옛날 사람들은 이 마음이라는 게, 그, 심, 心臓, 이 안에 있다는 것을, 어, 생각하고 있었습시다. 그냥 그런 느낌이 들어서 생각하고 있었습시다, 라고 했습니다.	昔の人たちはこの心というものが, その, 心, 「心臓」, この中にあるということを, えー, 考えていました。ただそんな感じがして考えていました, と言いました。		
44	それはなぜかって言うと, すご, すごくわかる理由があって, 人間っていうのは, こう, ドキドキしたりする。ね。	음, 그거 왜냐, 그건, 그것은 왜냐면 심장이 이제 뛰면은 엄청 빠르게 뛰거나 하는 일이 있기 때문입니다.	うん,それがなぜか,それは,それはなぜなら心臓がドキドキするととても速くドキドキしたりすることがあるからです。		
45	感情的な状態において胸がドキドキすることがある。	감정적인 일에 의해서 가슴이 뛰는 일이 있습니다.	感情的なことによって胸がドキドキすることがあります。		
46	そうするとまあ, ここが感動しているんだろうと。	그렇게 되면은, 음, 여기, 선생님이 가르치시는, 손의 부위가 이제 흔들린다, 라고 표현을 하셨습니다.	そうなると, うーん, ここ, 先生が指している, 手の部位が揺れ動く, と表現なさいました。		
47	ドキドキしてるとっていうのは感動を表す。だからここに心がある。ね。胸の奥に心があるんじゃないかっていうふう思う。	이제 감동, 감동이라는 표현을 쓰셨는데, 그, 가슴의 안쪽에 감동이 있고 마음이 있다는 걸 표현하고 계십니다.	感動, 感動という表現を使われたんですが, その, 胸の中に感動があって心があるということ表現していらっしゃいます。		
48				どうして昔の人は心臓に心があると思ったんですか。	
49		어, 가슴이 뛰기 때문입니다. 감정의 변화가 있다는 뜻인 것 같습니다. 감정의 변화도 있고 이제 신체적으로도 뛰면은, 어, 이게 또 물리적으로 그렇게 뛰는 느낌이 나기 때문에, 그, 마음이라는 것이 실재한다고 생각을 한 것 같습니다.	えー, 胸がドキドキするからです。感情の変化があるという意味だと思います。感情の変化もあって身体的にもドキドキすると, えー, これがまた物理的にそのようにドキドキする感じがするので, その, 心というものが実在すると思ったのだと思います。		
50	今だってこの, 胸に手を当てて考えなさいみたいなことで, まあ, あの, 内面を見なさいという意味で, 胸という言葉を使うことがあります。	지금 이야기 하면은 이제 가슴에 손을 대라는 표현이 있, 마음이, 맞, 가슴에 손을 대라는 표현이 있듯이, 그 뜻은 이제, 그, 마음을 보라라는 뜻으로, 음, 사용되는 것으로, 이제 마음이라는 표현을 쓰고 있습니다.	今の話をすると胸に手を当てろという表現が, 心が, あ, 胸に手を当てろという表現があるように, その意味は, その, 心を見るという意味として, うーん, 使われるものとして, 心という表現を使っています。		

51	で、考えてほしいのは、心臓だから、これは体なんだよね。	여기서 생각했으면 좋겠는 게 심장이라는 것은 몸이죠.	ここで考えてもらいたいのが心臓というものは体ですよ。		
52	身体にあるものです。	신체에 있는 것입니다.	身体にあるものです。		
53	西洋では心身二元論といって、心と体っていうのを別々に捉えようみたいな考えかたがすごく優勢だ。	서양에서는, 어, 심신, 음, 심신 의향, 앓, 심신 이항론이라고 해가지고, 어, 마음이랑, 그, 몸을 따로따로 생각하는 생각 방식이 유력합니다.	西洋では, えー, 心身, うーん, 心身意向, あ, 心身二項論と いって, えー, 心と, その, 体を別々に考える考え方が有力 です。		協力者は日本語の「二元」の発音から漢字を推測し「의향」(意向), 「이항」(二項)と発話したものと思われる。
54	ね。今でもついつい、あのそうじゃないと思いつつ、そういう発想で物事を捉えてしまう。	지금, 지금도 그렇지 않을 거라고 생각을 하면서도 계속 그런 생각이 듭니다.	今, 今もそうではないだろうと思いつつとそういう考えをしてしまいます。		
55				そういう考えとはどういう考えですか。	
56		이제 마음이랑, 어, 몸은 따로따로라는 생각입니다.	心と, えー, 体は別々だという考えです。		
57	それはたぶん、あの現代の我々も同じです。	그건 아마도, 어, 현재도 우리들도 같습니다.	それはたぶん, えー, 現在も我々も同じです。		
58	あの、すごくそういうものの影響を受けてますからね。	왜냐면, 음, 꽤 서양에서 많은 영향을 받고 있기 때문입니다.	なぜなら, うーん, かなり西洋から多くの影響を受けているからです。		
59	だったら次に英語で考えてみよう。	그럼 다음으로 영어로 생각을 해 봅시다.	それでは次に英語で考えてみましょう。		
60	英語で、心っていう言葉、これからもうちょっと詳しく言いますが、gutsという言葉がありますね。	영어로, 어, 마음이라는 단어를 생각해 봤을 때, 앞으로도 또 나오기는 할 거지만 guts라는 표현이 있죠.	英語で, えー, 心という単語を考えてみると、これからもまた出てくるとは思いますがgutsという表現がありますね。		
61	guts。	이것은 guts를 하겠습니까의 guts이죠. Guts, 잘 모르겠는데. Guts, 저도 이 단어 잘 모르겠어요. 거즈, 이제, 치료할 때 거즈를 부치는 거즈, 반창고 같은 느낌이에요. 거즈를 하다.	これはgutsをしますのgutsですね。Guts, よくわかりませんが、Guts, 私もこの単語よくわかりません。ガーゼ, 治療するときガーゼを付ける, ガーゼ, 絆創膏のような感じです。ガーゼをする。		
62	これはあのガッツ石松のガッツですね。	아닌가? 가쯔...가쯔, 가쯔합니다...트림하디의 가쯔은가요? 잘 모르, 모르겠어요, 잘, 트림하디의 가쯔ですか? 트림?	違うかな。「ガッツ...ガッツ, ガッツします...」ゲップするの「ガッツ」かな。よくわかり, わかりません, よく, ゲップするの「ガッツ」ですか? ゲップ?		
63	OK牧場, 知らないか, みなさんね。知ら, 全然反応しないってことは知らないよね。[笑う]	이 단어, 다들 모른다는 뜻이겠죠. 다들 반응을 안한다는 것, 모른다는 뜻이겠죠.	この単語, みんな知らないということですね。みんな反応をしないということは, 知らないということですね。		
64				なにを知らないと言っていると思いますか。	

65		ガッツしますね、のガッツです、はい。	「ガッツしますね、のガッツです、はい。」		
66	ガッツ石松は、だけど、知ってるでしょ。ね。たまにテレビに出てきますからね。	ガッツしますよ。Guts하겠습니다よ。Guts? 어, 가끔씩 들림으로 알 거라고 생각합니다.	「ガッツします」は知っていますよね? Gutsしますは知っていますよね? えー、たまに聞くから知っていると思います。		
67				そのガッツ石松というのはなんだと思いますか。物とか人とか、アクションとか、どんなものだと思いますか。	
68		ガッツ、ガッツ、ガッツします…3つぐらい、あ、世間 정도 생각이 들었는데요, 가ッツ, 가ッツ합니다. 가ッツ하십시오, 가ッツ합니다, 음, 첫번째는, 아까 말씀드린 거즈를 하겠습니다라는, 거즈를 부치겠습니다. 왜냐면 이제 마음의 치료가, 상처를 치료하는 게, 마음을 치료하는 것도 같다고 생각해서, 거즈하겠습니다가 거즈라고 생각한 게 하나 있고, 두번째는 guts, 두번째는 아까 트림이라고 얘기를 했는데, 그게 guts가 제가 알기로는 위, 위라는 의미가 있었던 것으로 알아서, 어, 위에서 이제 올라와서, 좀, 토하거나, 그, 트림을 하거나 의미가 있다고 생각을 했고, 세번째는, 이제, 가ッツ합니다, 선생님 말씀하시는 모습을 봤을 때 조금, 이렇게 좀, 이렇게 가ッツ합니다, 이런 식으로 이야기를 한 것 같아서 뭔가, 힘내겠습니다 이런 느낌도 있는 것 같아요. 조금 이제 마음의 회복을 하겠습니다, 이런 느낌도 있는 것 같습니다.	「ガッツ、ガッツ、ガッツします…3つぐらい」、あ、3つぐらい考えたんですが、「ガッツ、ガッツします、ガッツ하십시오、ガッツします」、うーん、1つ目は、さっきお話ししたガーゼをしますという、ガーゼを付けます。なぜなら心の治療が、傷を治療するのが、心を治療するのも同じだと思って、ガーゼをしますがガーゼだと思ったのが1つあって、2つ目はguts、2つ目はさっきゲップと言ったんですが、それはgutsが私が知っているところでは胃、胃という意味があったと思って、えー、胃から上がってきて、ちよっと、吐くとか、その、ゲップをするとかの意味があると思って、3つ目は、「ガッツします」、先生が話される姿を見るときちよっと、こうやってちよっと、こうやって「ガッツします」、こんなふうに話をしたように感じ、がんばりますという感じもあるみたいです。ちよっともう心の回復をします、という感じもあるように思います。		
69				ちなみにこれは大切な話だと思いますか、それとも先生の冗談だと思いますか。	
70		음, 근데 선생님이 이렇게 영어로 필기를 하시는 걸 보면은, 어, 豆知識, 그, 알고 있으면 좋은 지식으로서 좋은 정도가 아닐까 생각이 듭니다. 그렇게까지도 학문적으로 꼭 외워야 되고 그런 거 아니고, 아, 이런 말은 여기에서 유래했습니다, 이런 뜻인 것 같아요.	うーん、でも先生がこうやって英語で筆記をなさったことを見ると、えー、「豆知識」、その、知っていたらいい知識としていい程度ではないかと思います。そこまで学問的に必ず覚えなければいけないというものではなくて、あー、こういう言葉はここから由来しました、というような意味だと思います。		
71	あの、根性があるからガッツ石松なんです、	아! 근성이 있어서 guts하겠습니다, 라는, 이야기인데요, 까지 말하셨습니다.	あ、根性があるからgutsします、という、話なんです、までおっしゃいました。		
72	ガッツポーズを、という言葉を作ったのは私が作ったと言ってますけどね。	아, 여기서 확실해진 것 같네요 이제. 가ッツポーズ라는 게, 어, 있나 봐요. 그래서 이렇게 힘을 내는 거를 나타내는 것 같습니다.	ああ、ここではっきりしましたね。「ガッツポーズ」というものが、えー、あるようです。だからこうやってがんばることを表すみたいです。		
73	ガッツポーズ。ね。gutsっていう言葉は、だけど、もともと普通に英語で使われる言葉で、	Guts라는 표현은 원래 영어에서, 어, 잘 쓰이는 단어입니다.	Gutsという表現はもともと英語で、えー、よく使われる単語です。		
74	やっぱり根性みたいな意味を表わす。	역시 근성이라는 의미를 나타냅니다.	やはり根性という意味を表します。		
75	ね。あの、がんばろうぜってときに、あのガッツって言葉を使うわけですが、	열심히 하자, 힘내자라는 표현에 쓸 때 guts라는 표현을 씁니다.	一生懸命やろう,がんばろうという表現に使うときgutsという表現を使います。		

76	これも実は辞書で引くと、内臓のことなんですね。	이 guts라는 표현도 사실 사전으로 찾아 보면은, 어, 내장의 의미를 가지고 있습니다. 그런 의미가 나옵니다.	このgutsという表現も実は辞書で引いてみると、えー、内臓の意味を持っています。そういう意味が出てきます。		
77	内臓の臓って、めんどくさい。内臓。	내장의 장이라는 한자를 매우 쓰는 걸 귀찮아하시는 것 같습니다. 실제로 저도 저 장 자를 쓰라고 하면은 잘 쓸 수 있을지 모르겠어서, 네, 어려운 한자라고 생각이 듭니다.	内臓の臓という漢字をとでも書くのを面倒がっていらっしゃるようです。実際に私もあの臓の字を書けと言ったらちゃんと書けるかわからなくて、はい、難しい漢字だと思います。		
78	ガッツっていうのは、はらわたのことです。	Guts라는 것은 はらわた의 의미라고 하셨는데, はらわた가 잘 모르겠어요. はらわた? 들어 보겠습니다.	Gutsというものは「はらわた」の意味だとおっしゃったのですが、「はらわた」がよくわかりません。「はらわた」?聞いてみます。		
79				想像でいいのですが、だいたいどういうものだと思いますか。	
80		はらばた, 음 전혀 문맥이 나와 있지 않아서, 어떤 건지 아직은 잘 아직은 모르겠습니다.	「はらばた」, うーん, 全然文脈が出てきていなくて, どういうことなのかまだよくわかりません。		
81	これも面白い。だから英語のガッツという言葉も実は体に、なっている。	영어의 guts라는 것은 사실은, 아, 몸, 으로 되어 있습니다.	英語のgutsというのは実は, あー, 体, からできています。		
82	で、最後に、日本語でのころって言葉ですね。ころって言葉は、大和言葉で、	마지막으로 일본어의 心라는 표현인데요, 心라는 것은 일본의 야마토 시대에서 온 말입니다.	最後に日本語の「心」という表現ですが、「心」というのは日本の大和時代から来た言葉です。		
83	あの古い時代からあった日本語特有の語彙。ね。それがあの。中国から漢字が入ってきて、この字をあてて読むようになったわけです。	아주 오래된 옛날부터 이 ころ라는 단어를 사용하고 있었는데, 이거는 중국으로부터 들여와서 ころ, 그, 중국으로부터 들여온 한자, 마음 심 자에 ころ라는 단어를 붙여서 사용하고 있습니다.	とても古い昔からこの「ころ」という単語を使っていたのですが、これは中国から取り入れて「ころ」、その、中国から取り入れた漢字、心という字に「ころ」という単語を付けて使っています。		
84	ね、みなさん知ってますよね。	여러분 알고 있죠.	みなさん知っていますよね。		
85	じゃあ、ころという、この3つの音からなる、このももとの大和言葉ってのは、どっから来た言葉なんだろう。	그럼 이 ころ라는 세개의 음으로 이루어진, 어, 大和言葉는 도대체 어디서 온 말일까요?	ではこの「ころ」という3つの音からなる、えー、「大和言葉」はいったいどこから来た言葉なのでしょう。		
86	これは、あの結構調べても出てきません。	이건 꽤 찾아 봐도 나오지 않습니다.	これはかなり調べてみても出てきません。		
87	たとえば心理学の本とか見ても、日本語の心という言葉の語源がなにかってことは書いてあるの見たことがない。	예를 들어서, 심리학 책을 봐도 일본어의 心라는 단어가 어디서 나온 말인지 찾아 봐도 나오지 않습니다. 아, 여기서는 어원이라는 표현을 썼던 것 같습니다.	たとえば, 心理学の本を見ても日本語の「心」という単語がどこから出てきた言葉なのか調べてみても出てきません。あー、ここでは語源という表現を使っていたと思います。		
88	で僕は、ある時期に、それにすごい関心を持って調べたことがある。	저는 어떤 한 시기에 여기에 정말 흥미를 느껴서 찾아 봤던 경험이 있습니다.	私はある時期にここに本当に興味を感じて調べてみた経験があります。		
89	結構調べないとわからないですね。	꽤 찾아 보지 않으면 모릅니다.	かなり調べてみないとわかりません。		

90				調べないとわからないというのはどういうことでしょうか。なにがわからないんですか。	
91		어, 이, 心라는 어원에 대해서 찾아 보지 않으면은, 꽤 꽤 많이 찾아 보지 않으면 알 수 없다는 뜻인 것 같습니다.	えー, この、「心」という語源について調べないと, かなりかなりたくさん調べないと知ることができないという意味だと思います。		
92	あの, その, みなさんの教科書の, あの, 心理学入門一步手前のほうに書いてありますが,	여러분의, 그, 앞에 있는 교과서, 어, 에, 맨 앞쪽에, 어, 써져 있는데, 까지 하셨습니다.	みなさんの, その, 前にある教科書, えー, に, 一番前のほうに, えー, 書いてありますが, までおっしゃいました。		
93	日本語の結構くわしい, 古い辞書, 語源がちゃんと書いてある明治時代の辞書を探してみたんですよ。	어, 일본의, 일본, 일본의, 정말 옛날 단어까지도 들어 있는 그런 사전, 어, 메이지 시대 단어까지 들어 있는 그런 사전을, 어, 찾아 봤습니다.	えー, 日本の, 日本, 日本の, 本当に昔の単語までも入っているそういう辞書, えー, 明治時代の単語まで入っているそういう辞書を, えー, 探してみました。		
94	したらすぐ面白いことが書いてあった。	찾아 봤더니 매우, 어, 재밌는 일이 써져 있었습니다.	探してみるととても, えー, 面白いことが書いてありました。		
95	こころっていうのはどっから来た言葉か。	心[日本語で発話する]라는 단어는 어디에서 온 단어인가.	「こころ」という単語はどこから来た単語なのか。		
96	これは, こごり.こごりという言葉から来ている。	こころ라는 단어는 코고리라는 단어로부터, 어, 와, 왔습니다. 근데 사실 코고리라는 단어를 확실하게는 잘 모르겠어요.	「こころ」という単語は「コゴリ」という単語から, えー, 来て, 来ています. でも実は「コゴリ」という単語がはっきりわかりません。		
97	こごりとはなにかと言うと, 日本語で今あんまり使わない言葉ですが, 塊のことですね。	코고리라는 게 무슨 뜻이나 하면, 지금은 별로 사용하지 않지만, 어, 모여진 것, 딱 모이는 것, 뭉쳐진 것, 이라는 뜻입니다.	「コゴリ」というのがどういう意味かと言うと, 今はあまり使いませんが, えー, 集まったもの, しっかり集まったもの, 固まったもの, こんな意味です。		
98	塊. あの, 煮こごりってあるでしょう. あの, 飲み屋さんに行くと出てくる. ね. 魚のあの, なんだ, えっと, なん, あれはなんていうんだっけ, あの,	응, 塊라는 말을 한번 더 하셨는데, 뭉쳐진 것. 일본의 그런居酒屋, 술집 같은 곳에 가면은, 어, 煮코모리라는 것이 나옵니다, 까지 들었습니다.	うん, 「塊」という言葉をもう1度おっしゃったのですが, 固まったもの. 日本のああいう「居酒屋」, 飲み屋のような所へ行くと, えー, 「煮コモリ」というものが出てきます, まで聞きました。		
99				煮こごりというのがどういうものか, 推測できますか。	
100		어, 아마도, 어, 煮こむ라는 표현이 있잖아요. 煮こむ라는 것은 이제, 어, 조리다, 조리다, 어려운 표현이긴 한데, 국물을 조리다라는 표현이 있잖아요. 응, 그래서 아마 생선 같은 걸 조리서 만든 좀 옛날에 많이 먹, 제가 좋아하는 음식인 한데, 그, 좀, 茶色이한, 고등색 빛깔로 되어진 소스가 묻어진 그런 음식이 아닐까 싶습니다.	えー, たぶん, えー, 「煮こむ」という表現があるじゃないですか. 「煮こむ」というのは, えー, 煮こむ, 煮こむ, 難しい表現ではありますが, 汁物を煮こむという表現があるじゃないですか. うん, だからたぶん魚のようなものを煮こんで作ったちょっと昔たくさん, 私が好きな食べ物ではあるんですけど, その, ちよっと, 「茶色い」, 焦げ茶色にできたソースが付いたそういう食べ物じゃないかと思います。		
101				どうやってそれを推測したんですか. 言葉からですか。	
102		네, 네, 言葉에서. 그리고 음식점이라고 하는 데에서 그거이지 아닐까 생각을 했어요.	はい, はい, 「言葉」から. それから飲食店だということからそれではないかと考えました。		

103	コラーゲン成分ですか。が、固まった、おいしい、ね、ゼリー状になったものがありますが、	아, 이제 飲み屋, 술집에 가면은, 그, 생선으로 만든 젤라틴 유액, 그런 기름기가 가득한 젤라틴 유액 음식이 나오, 나옵니다.	ああ, 「飲み屋」, 飲み屋へ行くと, その, 魚で作るゼラチン乳液, そういう油がたっぷりのゼラチン乳液の食べ物が出て, 出てきます。		
104	あれ煮こごりって言いますよね。	그것을 煮코모리라고 말합니다.	それを「煮コモリ」と言います。		
105	あれはあの、煮て、そのあと固まったものという意味ですが、	앗, 그것은 이제 조리서 딱딱해진 것을 의미하는 말입니다.	あ, それは煮込んで固まったものを意味する言葉です。		
106	あの、漢字で言えば凝集の凝ってという字ですよ。凝集の凝ってという字。ね。これがあのたぶん、大和言葉だから漢字使ったらまち、反対じゃない、	한자로 말하면은 ぎょーシュー의 ぎょー라고 하고 있는데, ぎょーシュー라는 게 아마, 아, 그, 물고기 잡는 ぎょー슈어가 아닐까 싶은데, 한자로 맞나요? 아마 그래서 그 ぎょー라는 것은 魚, ぎょー라는 것은, 음, ぎょー라는 것은 생선 어 자일 것 같다 생각이 듭니다.	漢字で言うと「ぎょーシュー」の「ぎょー」と言っているんですが、「ぎょーシュー」というのはたぶん、あー、その、魚を捕まえる「ぎょーシュー」じゃないかと思うんですけど、合っていますか。たぶんだからその「ぎょー」というのは「魚, ぎょー」というのは、うーん、「ぎょー」というのは魚という字だと思います。		
107				なにを漢字で表しているんですか。煮こごりですか。	
108		あー、煮コモリ、煮コモリの話、んー、だと思えますね、はい。	「あー、煮コモリ、煮コモリの話、んー、だと思えますね、はい」。		
109	こごるという言葉があって、それがこごりになったという、あの説明が書いてある。	그게 이제 ぎょーシュー라는 단어에서 こごる라는 표현이 되고 이게 こごりが 되서 こごりが 됐다는 표현을 하시는 것 같습니다.	それが「ぎょーシュー」という単語から「こごる」という表現になってこれが「こごり」になって「こごり」になったという表現をなさっているようです。		
110	で、じゃあ、こごり、塊とはなにかというと、	그렇다면 こごり, 뭉쳐진 것이라는 것이 무슨 뜻인가 하면은, 까지 하셨습니다.	それなら「こごり」、固まったものというものがどういう意味かというと、までおっしゃいました。		
111	これは面白いですよ。人間の体の中にある塊、すなわち内臓を指すって書いてある。	이건 재밌습니다. 이걸 재밌는 이야기인데요, 인간의, 어, 인간의 몸 안에 있는 뭉쳐진 것, 입니다. 즉 내장을 뜻합니다.	これは面白いです。これは面白い話ですが、人間の、えー、人間の体にある固まったもの、です。すなわち内臓を意味します。		
112	どういことかって言うとね、人間に限らずですが、生き物っていうのは内臓を持っているんですね。	어떤 말이나 하면, 어, 인간뿐만 아니라 생물은 내장을 가지고 있다, 라는 것입니다.	どんな言葉かというと、えー、人間だけではなく生物は内臓を持っている、ということです。		
113	普段暮らしていると、そういうあまり内臓とか見るチャンスはないですが、	보통 이제 일상 생활에서는 내장을 볼 일이 별로 없겠지만요.	普通日常生活では内臓を見ることはあまりないでしょうけど。		
114	けどあの、よく考えてみてくださいよ。あの、たとえば、魚釣りなんかして、魚がつかれてすぐのときにさばくと内臓が出てきますが、	잘 생각해 봐 주세요. 이제, 어, 물고기 잡이, 낚시를 하러 가서 물고기를 잡아서 바로 열면은 내장이 나오죠.	よく考えてみてください。えー、魚を捕まえること、釣りをしに行くと魚を捕まえてすぐ開くと内臓が出てきますね。		
115	すごくきれいな色をしています。	매우 예쁜 색깔을 띠고 있습니다.	とてもきれいな岐路をしています。		

116	真っ青とか真っ赤とかね、オレンジ色とかものすごいきれいな鮮やかな、極彩色の色をしています。	真っ青とか真っ赤とか, 어, 매우 파란색이라든지 매우 빨간색이라든지 매우 검은색의 그런 색깔들이 딱 확실하게 묻어져 있습니다. 살짝 농친 부분이 있는 것 같은데, 오렌지색, 오렌지 색깔, 주황 색깔도 있는 것 같습니다. 그리고 화려하다고 하셨습니다, 빛깔이.	「真っ青とか真っ赤とか」, えー, とても青いかとても赤いかとても黒いという色がしっかりはつきり付いています。少し逃した部分があるようですが、「オレンジ色」, オレンジ色, 橙色もあるようです。そして派手だとおっしゃいました, 色が。	
117	すぐにあの, なんだ, 生きが悪くなるとその色はあせませすけどね。	음, 그리고 이제 바로 죽거나 조금, 어, 이제 죽거나 상태가 안좋아지면은 색깔이 탁해지거나 합니다.	うーん, そしてすぐ死ぬとかちょっと, えー,死ぬとか状態が悪くなると色が濁ったりします。	
118	だから, あの, ちょっとグロい話かもしれませんが, あの, 屠殺場で, あの, 牛や豚を殺しても同じです。	음, 조금 그로테스크한 잔인한 이야기일 수도 있는데, 어, 도살장에서 돼지나 소를 이제 도살을 할 때, 까지 이야기를 하셨습니다.	うーん, ちょっとグロテスクな残酷な話かもしれませんが, えー, 屠殺場で豚や牛を屠殺するとき, まで話されました。	
119	出てきたばかりの内臓はものすごい鮮やかな色をしてる。	그런 경우에도 똑같습니다. 나온 그런 내장들은 매우, 어, 화려한 색을 띠고 있습니다.	そんな場合にも同じです. 出てきた内臓はとても, えー, 派手な色をしています。	
120	人間でもそうです。たとえば僕が腹をかっさばいて内臓を出したら, これ, ピカ, 本当にね, ものすごい鮮やか。	인간이라도 똑같습니다. 지금 제가 배를 갈라서 내장을 내면은 매우 빨간색이라든지 화려한 색깔이 있습니다.	人間も同じです. 今私がお腹を切って内臓を出したらとても赤いとか派手な色があります。	
121	ちょっと色合いが違いますが, 真っ赤っか。あの, 真オレンジ色。すごい鮮やかな色しています。	매우 빨간색이라든지 매우 주황색인 매우 화려한 색상으로 이루어져 있습니다.	とても赤いかとてもオレンジ色のとても派手な色合いでできています。	
122	で, それっていうのは, なんとというか, あの自然にある色とはちょっと違ってね, 人間はそれ見ると結構神秘を覚える。	그거는 매우 자연스러운 색깔이 아니라 그걸 보면은 매우 신비함 같은 생각이 듭니다.	それはとても自然な色ではなくてそれを見るときとても神秘的のような思いがします。	
123	だから, この説明っていうのは, 生き物のお腹の中には不思議な塊が入っている。	그래서 이 心라는 것은, 어, 인간, 생물이라는 것은 매우 불가사의한 그런 뭉쳐진 것, 塊, 뭉쳐진 것, 그런 게 들어 있다, 라고 하셨습니다.	だからこの「心」というものは, えー, 人間, 生物というものはとても不思議なそんな固まったもの, 「塊」, 固まったもの, そんなものが入っている, とおっしゃいました。	
124	で, それが生命活動の元なんだろうと。	그게 이제 생, 생명을, 生命活動, 생명 활동이라고 하셨는데 한국어에 없는 말이어서, 이제 살아가는 활동, 이제, 그런 생명 활동을 하는데 필요한 것이라고 하셨습니다.	それが生, 生命を, 「生命活動」, 生命活動とおっしゃったのですが韓国語にない言葉で, 生きていく活動, そういう生命活動をするのに必要なものだとおっしゃいました。	
125	生き物の中にある不思議なもの, として, ごごりというものを使う。	생물 안에 있는, 어, ごごり라는 것으로서의, 어, 잘 기억이 안나요, 갑자기, 네, 생물 안에 있는 ごごり, 생물 안에 있는, 음, 신비로운 ごごり라고 한 것 같아요, 네.	生物の中にある, えー, 「ごごり」というものとしての, えー, よく思い出せません, 急に, はい. 生物の中にある「ごごり」。生物の中にある, うーん, 神秘的な「ごごり」と言ったと思います, はい。	
126	塊。お腹の中の塊。	배 안 속에 있는 뭉쳐짐	お腹の中にある固まり	
127	すなわち内臓。これが, ころろという言葉の語源になっている。	음, 즉 내장인데, ころろ라는 말의 어원입니다.	うーん, すなわち内臓ですが, 「ころろ」という言葉の語源です。	
128				結局, ごごりというのはなんだという説明だったんですか。
129		마음이라는 것은 내장이라고 가르쳐 주신 것 같은데, 아직 그렇게 까지는 마음에 와닿는 말은 아닌 것 같아서 더 들어 봐야 될 것 같아요.	心というものは内臓だと教えてくださったのだと思いますが, まだそんなにしっくりくる言葉ではない気がしてもっと聞いてみたいといけません。	

130	同じでしょう。心臓, 内臓, こごりもそうなんですよ。	다 똑같죠. 심장, 내장, こご리도 똑같애요.	みんな同じでしょう。心臓, 内臓, 「こごり」も同じです。		
131				みんなというのはなんのことですか。	
132		여기서 이제, 한자의, 한자의 마음 심 자랑 영어의 guts랑 이제 일본어 和語인 心ころ를 의미하는 것 같습니다.	ここで, 漢字の, 漢字の心という字とgutsと日本語「和語」である「心ころ」を意味していると思います。		
133	それは単なる偶然とは思えませんね。	이거는 단순하게 우연이라고 생각할 수 없죠.	これは単純に偶然だと思うことはできませんね。		
134	これ, どういう意味かっていうと, 古い時代には体と心っての区別はしなかったということですよ。	이게 무슨 뜻이냐면 정말 옛날에는 몸과 마음을 구별하지 않았던 뜻입니다.	これがどういう意味かっていうと本当に昔には体と心とを区別してなかったという意味です。		
135	おそらく。で, 生き, 生き物が持っている不思議な働きみたいな意味で, 心ころ, あるいはしん, ガッツという言葉があるんですね。	어, 이제 생물이 가지고 있는 마음으로서의, 어, 心ころ, guts, 맞, 마음으로서의, 어, 心ころ, guts, しん, 이라고 말하신 것 같은데, 응, 이 세가지가 있다, 라고 말하셨습니다.	えー, 生物が持っている心としての, えー, 「心ころ」, guts, あ, 心としての, えー, 「心ころ」, guts, 「しん」, とおっしゃったようですが, うーん, この3つがある, とおっしゃいました。		
136	それがだんだんと, 体の問題から離れて, 独立していったという, そういうプロセスがあるってことが想像されるわけです。	이거 세계가 각각 다 이렇게 떨어져서 독립하여, 어, 갔다고 생각할 수 있습니다.	この3つがそれぞれこう離れて独立して, えー, いったと考えることができます。		
137	特に, 日本人, まあ我々, アジア人というわけですが, アジア人の心の中には, 心の中にはね[笑う], 心と体を分けることに対して, なんかね, 全然それと違うものの考え方が, あるような気がします。	특히, 어, 우리들 일본인, 그 중에서 이제 아시아인, 우리 아시아인들에 있어서 心라는 것은, 어, 그, 맞, 心과, 마음과 신체가 하나라는 것은, 어, 어떠한 의미를 가지고 있습니다.	特に, えー, 我々日本人, その中でアジア人, 我々アジア人たちにとって「心」というものは, えー, その, あ, 「心」と, 心と身体がひとつだということは, えー, ある意味を持っています。		
138	おそらくそれは西洋でもどこでも昔はそうだったんでしょう。	어, おそらく, 음, 일단, 일단, おそらく, 아마, 서양이든 다 같은 생각이겠죠.	えー, 「おそらく」, うーん, とりあえず, とりあえず, 「おそらく」, たぶん, 西洋でも同じ考えでしょう。		
139				ここで言う同じ考えというのはどういう考えのことですか。	
140		여기서는 이제 마음과 신체가, 어, 하나라는 뜻인 것 같습니다.	ここでは心と身体が, えー, ひとつだという意味だと思います。		
141				西洋の現在の話ということで大丈夫ですか。	
142		음, 아, 모르겠어요. 앞으로의 이야기를 더 들어 봐야 될 것 같은데, 만약 이, 이, 어, 서양은 아까 신체와 마음이, 음, 어, 마음이, 뭐라고 했지, 잠시만요. 아까... 조금 생각해 봐야 될 것 같은데, 아까 아마 서양은 마음과, 그, 신체가 하나라고 했던 것 같고, 어, 다른...앗, 아닙니다. 서양에서는 마음과 신체가 두개로 나누어졌다고 했고, 이제 아시아에서는 심신이 하나라고 이야기를 하고 있는 것 같애요.	うーん, あー, わかりません. 先の話をもっと聞いてみないとけないと思いますが, もしこの, この, えー, 西洋はさっき身体と心が, うーん, えー, 心が, なんて言ってたつけ, ちょっと待ってください. さっき...ちょっと考えてみないとけないんですけど. さっきたぶん西洋は心と, その, 身体が1つだと言っていて, えー, 他の...あ, 違います. 西洋では心と身体が2つに分かれていると言って, アジアでは心身が1つだと言っていると思います。		

143				現在では、西洋では心と体が別々ということですか。	
144		現在, 음, 지금, 지금은, 음, 지금은 다르다고 하는 것 같아요.	「現在」, うーん, 今,今は, うーん,今は違うと言っていると思います。		
145				じゃあ同じだと言ったのはいつのことだと思いますか。	
146		음, 同じだ, 음, 그냥 同じ다라는 건, 어, 아마 생각 방식을, 어, 일본식 생각 방식이랑 서양식 생각 방식은 결론적으로는 같다는 이제 표현하시려고 하는 것 같은데, 잘 모르겠어요.	うーん, 「同じだ」, うーん, ただ「同じだ」ということは, えー, たぶん考えかたを, えー, 日本式の考えかたと西洋式の考えかたは結論的には同じだと表現しようとなさっているのだと思いますが, よくわかりません。		
147	あの, き, 我々の地方で, アジア, アジアに古いものはまだよく残っているということなのかもしれない。	음! 우리들이 살고 있는 아시아에는, 어, 아직 좀 옛날 것들이 많이 남아 있다는 뜻일지도 모릅니다.	うーん! 我々が暮らしているアジアには, えー, まだちょっと昔のものがたくさん残っているということかもしれません。		
148	文化の違いっていうよりもね, 古いものがよく残っていることなのかもしれない。	문화의 차이라고 하면 될까요. 옛날 것들이 많이 남아 있다는 것입니다.	文化の違いと言ったらいいでしょうか. 昔のものがたくさん残っているということです。		
149	どういことかっていうと, 日本語に注目してほしいんだよね. 日本語では実は,	일본어로 생각해 보자고 하셨고, 일본어에는 이제 ごり라는 표현에 대해서 이제 보, 보러 가는 것 같습니다.	日本語で考えてみようとおっしゃって, 日本語には「ごり」という表現について見, 見に行くようです。		
150	こういう, 心とは体の中の塊であるってことに対応する, 表現がいっぱいあるんですよ。	心라는 것이 이제 ごりに 대응한다는 그런, 어, 말은, 대응한다는 증거는 많이 있습니다.	「心」というものが「ごり」に対応するというそういう, えー, 言葉は, 対応するという証拠はたくさんあります。		
151	それはなにかというと, 腹ですね。	그게 무엇인가 하면 배입니다.	それがなにかと言うとお腹です。		
152	腹。腹っていう言葉もすごい古い日本語で,	腹, 배라는 것도, 어, 매우 오래된 일본어입니다.	「腹」, お腹というのもの, えー, とても古い日本語です。		
153	あの, まあ, こういう漢字をあててるわけですが, これ腹っていうのはこのことですよ。	이런 한자를 이제, 이런 한자에 대응을 하고 있는데, 腹라는 것은 이 배, 배를 가리키시고 있는데 배라는 거죠, 라고 하셨습니다.	こんあ漢字を, こんな漢字に対応をしいえるのですが, 「腹」というのはこのお腹, お腹を指していらっしゃるんですけど, お腹ということですね, とおっしゃいました。		
154	みなさんの言葉の中で, みなさんの言葉って, 日本語の表現の中で, 腹を探る。ね。言うでしょ。	여러분이 사용하는 말 중에, 일본어 중에, 배에서, 배를 찾다, 배 안에서 뭔가를 찾다는 표현인 것 같은데, 한국어에는 없는 표현이라서 모르겠는데, 그런 표현이 있죠, 라고 하고 계십니다.	みなさんが使っている言葉の中に, 日本語の中に, お腹で, お腹を探る, お腹の中でなにかを探るという表現のようですが, 韓国語にはない表現なのでわかりませんが, そういう表現がありますね, とおっしゃっています。		
155	腹黒い。わかる。あの教科書にはもっといろいろ書いてありますが, あの, 一生懸命辞書を引いて調べてみたんですがね。	腹ぐらい라는 표현도 있습니다. 그래서 이제 사전을 열심히 찾아 봤습니다, 라고 한 것 같습니다.	「腹ぐらい」という表現もあります。だから辞書を一生懸命引いてみました, と言いたいです。		
156				今言ってくれた日本語はどういう意味かわかりますか。	

157		腹ぐらいは、あのー、なんだったかな。ちょっと、んー、んー。直訳としてはありませんけど、お腹が黒いと、「腹ぐらい」はお腹が黒いと言ったらお腹が黒いなんですけど、それはこれといった意味がなくて、日本語の表現的には中が黒い、えー、うーん、ちょっとそれは、本心ではなくてなにか欲しているものがある、そういう感じだと思います。ちょっと詐欺をする人だとか、うん。		
158	腹に据えかねる。そういう表現がいっぱいあります。	음, 스에카엘? 배, 배 사용되는 표현이 많이 있습니다, 라는 표현인 것 같아요.	うーん、「スエカエル」? お腹, お腹が使われる表現がたくさんあります, という表現のようです。	
159	で、それらは全部心についての表現ですよ。腹を探るっていうのは、その人が考えてることを探るって意味だ、ね。	그런 것들은 다 마음에 관련된 이야기입니다. 腹を探る라는 표현은 마음을 찾는다는 뜻입니다.	そういうものは全部心に関連した話です。「腹を探る」という表現は心を探るという意味です。	
160				先生はなぜ腹に関係ある日本語をたくさん出したんですか。
161		어, 어, 腹, 아마, 腹, 배 안에, 배 안에 내장이 있기 때문에 그런 게 아닌가 싶어요. 내장이 아까 마음이란 같은 거라고 그런 이야기가 있었어서, 이제, 배가 내장이랑 관련이 있고, 그 내장이 마음이란 관련이 있기 때문에 마음과 배가 대응하는 거라고 생각하시는 것 같습니다.	えー、えー、「腹」、たぶん、「腹」、お腹の中に、お腹の中に内臓があるのでそういうことなのではないかと思います。内臓がさっき心と同じものだという話があって、お腹が内臓と関連があって、その内臓が心と関連があるので心とお腹が対応するのだと考えていらっしゃるのだと思います。	
162	だから腹っていうのは、実は日本語では心という言葉と非常に近い関係にあるんですよ。	배라는 것은 사실 일본어에서는 마음이라는 단어와 매우 가까운 관계에 있습니다.	お腹っていうのは実は日本語では心という単語ととても近い関係にあります。	
163	現代日本語でもそうなの。	현대 일본어에서도 똑같습니다.	現代日本語でも同じです。	
164	わかりますか。だから日本人の心に、心っていうのは実は体なんだよね。	일본인의 마음이라는 것은 사실, 어, 몸이죠.	日本人の心っていうのは実は, えー, 体ですよ。	
165	ほんとにね、このへんにある、お腹にある。	진짜로 このへん, 여기 부분. 배를 가리키면서 여기 부분이라고 하셨으니까, 그 마음이라는 것이 배 쪽에 있다는 걸 표현하십니다.	本当に「このへん」、ここの部分。お腹を指しながらここの部分とおっしゃったので、その心というものがお腹のほうにあるということ表現していらっしゃいます。	
166	実際、その中で僕が一番面白いなと思った実例が、	여기서부터는 이제 실제 예를 알려 주시려는 것 같습니다.	ここからは実際の例を教えてくださいます。	
167	切腹ですね。昔のお侍さんは、あの、切腹をする。	그, 할복, 한국어로는 할복이라고 할텐데 할복에 대해서 이야기를 하는 것 같아요. 배를 가르는 切腹, 응, 에 대해서 侍가 했던 切腹에 대해서 이제 실례를 들어 주시는 것 같습니다.	その、割腹、韓国語では割腹と言うのでしょけど割腹について話しているようです。お腹を切る「切腹」、うん、について「侍」がしていた「切腹」について実例を聞かせてくださるようです。	
168	腹を切る。ね。これはあの、ちょっと間違っただけが、あの、海外に伝えられて、日本人といえはすぐ腹切りみたいな	이거는 이제 좀 잘못된 이미지가 해외로 퍼져 나가가지고 일본인은 배를 가른다 이런 이미지가 퍼져 나가 있는 것 같습니다.	これはちょっと間違っただけが海外に広がってしまって日本人はお腹を切るというイメージが広がっているようです。	
169	へんてこなイメージになってますが、まあ、そうじゃないってことはみなさんよく知ってますよね。	근데 그렇지 않다는 건 여러분도 아시겠죠.	でもそうではないということをみなさんもご存知ですよ。	

170	あれはあれで、きっちり儀式化されたものなわけですが。なぜ腹を切るのか。	우리들 안에서는 이제 확실하게 의식인 걸로 알고 있지만, 어, 왜 이 배를 가르는 걸까요?	我々の中でははっきり儀式だということですが、えー、どうしてこのお腹を切るのでしょうか。		
171	意味わかんないですね。	의미를 모르겠죠, 정말.	意味がわかりませんよね, 本当に。		
172	なぜここを切るのか。ここでもいいだろう, ここでもいいだろう。	이제 몸으로 바디랭지지를 하셨는데, 왜 배를 가르냐, 목을 찢러도 되고, 목을 갈라도 되고 머리를 찢러도 되는데 왜 배이냐고 하신 것 같아요.	体でボディランゲージをなさったのですが、なぜお腹を切るのか、首を刺してもいいし、首を切ってもいいし頭を刺してもいいのになぜお腹なのかとおっしゃったようです。		
173	ね。どこでもいいだろうと思うんですが、腹を切ることになってる。これはどういう意味があるかという、侍が、腹を切るってのは、この中にあ る本当の真心の気持ちを、ま、人に見せるために切る。	응, 응, 아, 이게 이제 원래의 의미, 배를 가르는 원래는 의미가 侍가 배 안에 있는 진짜 마음, 아마 충성심 같은데, 그런 걸 갈라서 보여 준다는 의미에서 나온 의식인 것 같습니다.	うーん, うーん, あ, これがこれがももとの意味, お腹を切るももとは意味が「侍」がお腹の中にある本当の心, たぶん忠誠心だと思いますが、そんなものを切って見せるという意味から出た儀式のようです。		
174	それを赤心って言うんですね。赤い心と書いて、これも面白い言葉ですがね。	그거를 이제赤心이라고 하는데, 적심이라고 하는데, 어, 빨간 마음이라고 합니다.	それを「赤心」と言うのですが、赤心と言うのですが、えー、赤い心と言います。		「적심」は日本語の「赤心」を韓国語式に発音したものと思われる。
175	どこからきた言葉なんでしょう。	이거는 어디에서 온 말일까요?	これはどこから来た言葉でしょうか。		
176	本当の心のことを赤心と言う。	진짜 마음을 적심이라고 합니다.	本当の心を赤心と言います。		「적심」は日本語の「赤心」を韓国語式に発音したものと思われる。
177	で、腹を切って赤心を見せるってことが、なんていうの、侍の誠実な気持ちを表す。	배를 갈라서 그赤心, 적심을 보여 준다는 게, 어,侍의, 음, 진심을 보여 주는 거라고 이야기하고 있습니다.	お腹を切ってその「赤心」、赤心を見せるということが、えー、「侍」の、うーん、真心を見せることだと話しています。		「적심」は日本語の「赤心」を韓国語式に発音したものと思われる。
178	ね。自分は間違っことはしていない。神に誓って私は、あの、変なことはしてないということを証明するために見せる。	자기는 이제 잘못된 일을 하지 않았다, 어, 하늘에 맹세하고 잘못된 일을 하지 않았다는 것을 보여 주기 위함입니다. 그런 의미에서 제가 생각했을 때 적심이라는 건 결백을 주장하는, 결백이라는 의미랑 상통하지 않을까 생각이 듭니다.	自分は間違っことをしていない。えー、天に誓って間違っことをしていないということを見せるためです。そういう意味で私が思うのは赤心というものは潔白を主張する、潔白という意味と相通するのではないかと思います。		「적심」は日本語の「赤心」を韓国語式に発音したものと思われる。
179	これが、あの、切腹の儀式なんです。	이것은, 어, 할복의 의식입니다.	これは、えー、割腹の儀式です。		
180	で、赤い心、さっき言ったでしょ。はらわたは赤いんですよ。	빨간 마음. 방금도 말했지만 배는 빨강입니다.	赤い心。さっきも言いましたがお腹は赤いです。		
181	すごく鮮やかな色をしている。	매우, 매우 화려한 색을 띠고 있습니다.	とても、とても派手な色をしています。		
182					なにが鮮やかな色なんですか。
183		내장이라고 생각 듭니다. 배를 갈랐을 때 나오는, 그 내장.	内臓だと思います。お腹を切ったとき出てくる, その内臓。		

184	実際にあの、これ想像すると、これ、ちょっとあの、グロテスクになっちゃいますけど、ちょっと聞いてね。	실체로, 이제 실체로 예를 드실 것 같은데, 이번에도 좀 그로테스크, 잔인한 이야기가 나올 것 같습니다.	実際に、実際に例を挙げられるようですが、今回もちょっとグロテスク、残酷な話が出てくるようです。		
185	あの、切腹するわけですよ。白い、あの、砂の上でさ、白い、あの、着物を着て、切腹するわけですね。	이제 할복을 하는데, 어, 하얀 옷을 입고 모래 위에서 할복을 합니다.	割腹をするのに、えー、白い服を着て砂の上で割腹をします。		
186	そうすると、血がドバッと出でさ、あの、はらわたがドバッと出るわけよ。	그렇게 하면은 이제 피가, 피가 딱 튀고, 그, 내장도 딱 튀어 나옵니다.	そうすると血が、血がバーッと飛び出てきます。		
187	その色っていうのは、ものすごい鮮やかな色なわけです。	그, 그 색깔은 매우, 어, 매우 선명하고 이제 화려한 그런 색을 띠고 있습니다.	その、その色はとても、えー、鮮明で派手なそういう色をしています。		
188	で、その色こそが、その侍の、偽りのない心を表している。	그 색깔이 이제 侍의 적심을 나타내는 것입니다.	その色が「侍」の赤心を表わしているのです。		「적심」は日本語の「赤心」を韓国語式に発音したものと思われる。
189	そういう意味の、まあ古い、おそらく遡ったものすごい古い起源を持っているんですね。	그런 의미, 그니까, 이제, 더 많이, 어, 옛날로 돌아가면은 정말 많은 의미를 가지고 있다, 더 깊은 의미를 가지고 있다는 것 같습니다.	そういう意味, だから, もっとたくさん, えー, 昔に戻ると本当にたくさんの意味を持っている, もっと深い意味を持っているということのようです。		
190	そういう、まあ、あの意味があると言えます。これが辞書的な意味。ね。	그런 의미가 있다고 알려져 있습니다. 이것은 사전적인 의미입니다.	そういう意味があると知られています。これは辞書的な意味です。		
191				この講義で先生は結局、心はなんだと言っていましたか。	
192		心は、あのー、앗, 마음은 내장이다, 마음은 몸이다라는 표현을 하고 계신 것 같습니다.	「心は、あのー」。あ、心は内臓だ、心は体だという表現をしていらっしゃったと思います。		
193				その考えかたは西洋の考えかたと同じですか。	
194		아니요, 전혀 다른 생각입니다. 서양은 서로 마음과 신체를 다르다고 생각을 하고 있습니다.	いいえ, 全然違う考えです. 西洋はお互いに心と身体を違うと考えています.		